

平成22年度F2B日本選手権、競技方法

1. 競技方法の大枠

1日目＝公式飛行（予選） 1R, 2R, サークルは2面
2日目＝決勝飛行 1R, 2R, サークルは1面

2. 公式飛行（予選）

公式飛行を2ラウンド行なう。競技者を2組に分け、競技面を2面設定する。審査員は3名1組とし、A, B, 2組の審査員団を設け、ラウンドごとに審査員団を交代する。但し、参加選手が50名を超える場合、もしくは会場の運営上、支障をきたすと予想される場合は予選を2日間に分けて行う。

3. 審査員団の編成方法

公式飛行の前に行なわれる目慣らし飛行で審査員が採点した結果を元にしてA, B, 2組の合計点の差が少なくなるように審査員団を編成する

4. 成績

公式飛行1～2ラウンドの得点を千分率で計算して得点を算出し、どちらか高得点のラウンドの得点を公式飛行の得点とする。この結果により、上位15名を決勝進出者とし、16位以下の順位を決定する。

5. 決勝飛行

決勝飛行は公式飛行により選出された15名の競技者によって1面の競技面で2ラウンド行なう。審査員団は5名を1組とし、最高得点と最低得点を除いた3名の審査員の得点の千分率の合計をそれぞれのラウンドの得点とする。選手権者および15位までの順位は決勝飛行2ラウンドの得点の千分率の合計得点により決定する。但し、天候や時間などの都合で1ラウンド以下しか行なえない場合は1ラウンドの得点もしくは公式飛行の得点により順位を決定する。

6. 優先順位

天候、その他が原因で日程が消化できないと判断した場合は下記の優先順位によって競技内容を変更する。但し、日本選手権成立のための最低条件は公式飛行2ラウンドの完了とする。したがって、この条件が満たされない場合は競技不成立となり、日本選手権は中止とする。

1. 公式飛行（予選） 2ラウンド
2. 決勝飛行、第1ラウンド
3. 決勝飛行 第2ラウンド

※選手ミーティングは競技会場で行ないます。

※日本選手権ではセーフティストラップの使用が義務づけられています。

初参加の選手は特に注意してください。